

2023年度 学校教育(重点目標)の総括

生駒市立上中学校

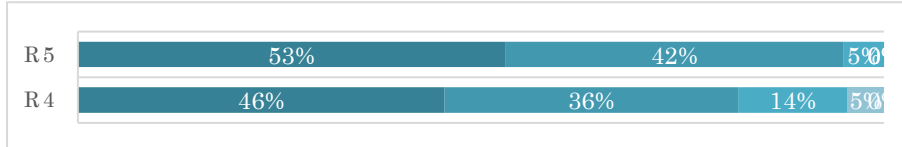
教育目標を達成するための重点目標についての総括

(1)〈教科指導の充実〉よくわかる授業の展開のため、校内研究授業等を通して授業力の向上を図り、自ら学ぶ意欲と態度を培う学習指導を推進する。

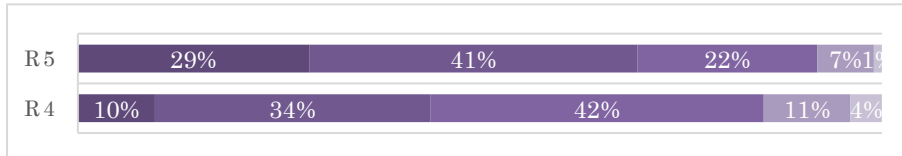
教科指導にかかわる自己評価及びアンケート結果

※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

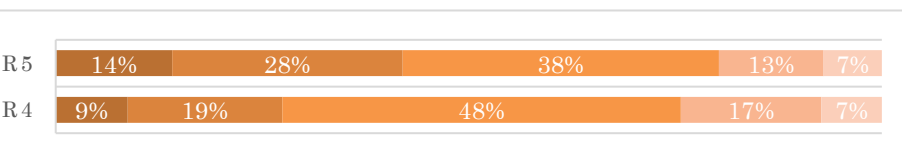
【自己評価】 8 わかりやすい授業づくりに努めている。



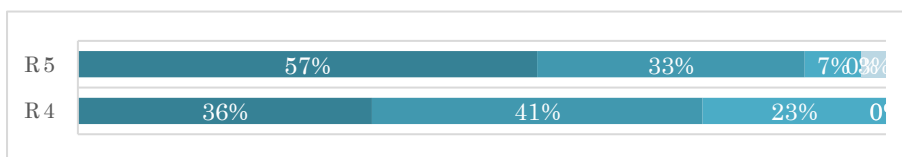
【生徒アンケート】 4 授業は、わかりやすく楽しく学習できる。



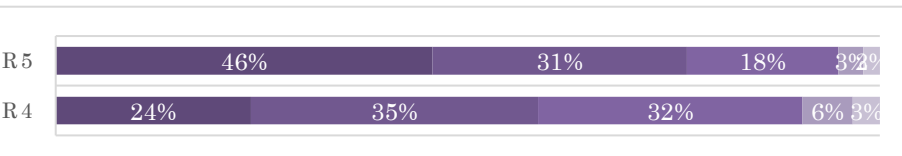
【保護者アンケート】 8 学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。



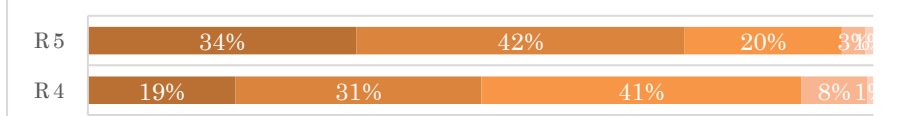
【自己評価】 9 授業等で、大型モニターや chromebook などの ICT を活用して取り組んでいる。



【生徒アンケート】 5 大型モニターや chromebook などを活用した授業は理解しやすい。



【保護者アンケート】 9 学校は大型モニターchromebook 等の情報機器を活用した指導を行っている。



教員はわかる授業を心がけて授業を行っており、生徒にとってもわかりやすく、楽しく学習できると概ね回答ではあるが、保護者の意見は「分かりやすい授業を」と考えていることが結果より分かる。授業やテストの難しさに対する不安を払しょくするためにも、どのような目標を立てて学習を進めているかをきちんと生徒や保護者に伝えていくこと、学力の基礎・基本の定着を図り、生徒が自ら考え自分の意見を交流し発表するなど主体的で課題解決的な授業を具体的に進めていく必要がある。指導と評価の一体化を目指し学校全体で課題をどのように克服するか検討し、教員それぞれが教科担当や個々に考え、総括する方法に変えていくことで改善を目指す。授業での chromebook【タブレット】の活用が協働的な学び、主体的な学びにつながるようにさらに授業改善を進めていきたい。

【来年度に向けて】

- ・授業力向上(chromebook や ICT の活用、わかる授業や指導方法の工夫)
- ・授業公開週間(上中教育週間)の充実 保護者への授業公開
- ・読書活動の推進(委員会活動の活性化、図書館を使った教科学習等)
- ・評価についての職員研修の開催

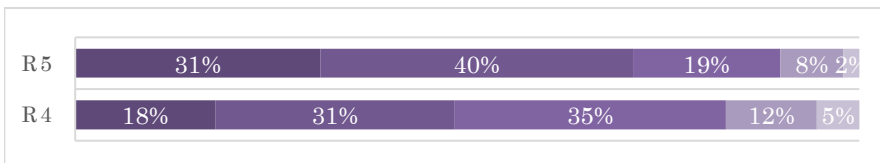
(2)〈生徒指導の充実〉丁寧に生徒を見つめ、正しく生徒を理解し、規範意識の醸成と道徳的実践力を高める積極的な生徒指導を推進する。

※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

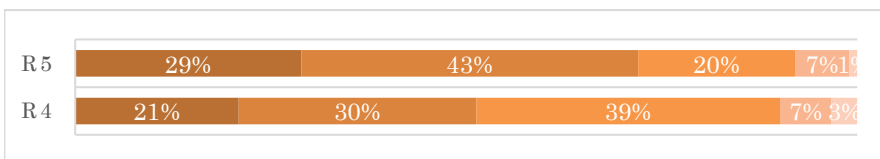
【自己評価】 7 生徒が、けじめのある学校生活を送れるように適切に指導している。



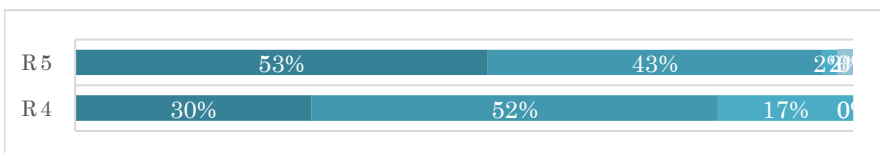
【生徒アンケート】 3 学習など目標を持って学校生活を送っている。



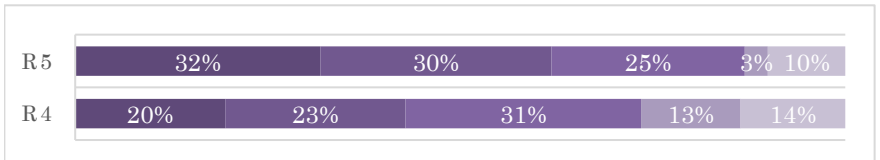
【保護者アンケート】 7 学校は、落ち着いて学習できるよう環境を整えている。



【自己評価】 14 生徒からの悩みや相談事をしっかり受け止め、カウンセリングマインドを基本とした教育相談を行っている。

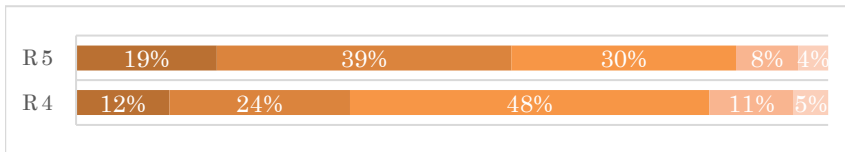


【生徒アンケート】 12 学校生活について、相談できる先生がいる。

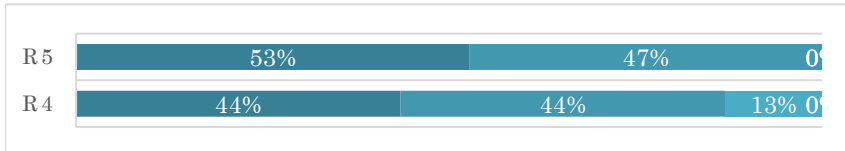


※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

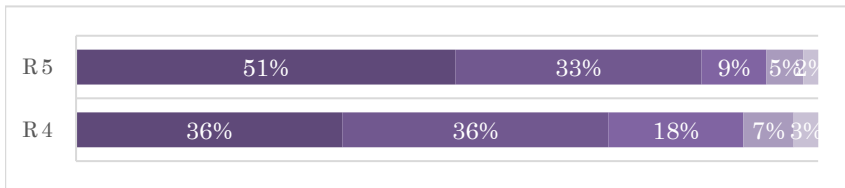
【保護者アンケート】 15 学校は、生徒の良さを認め、声掛けなどを通じて、関係づくりに努めている。



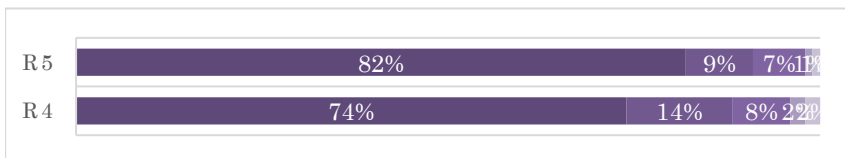
【自己評価】 16 暴力やいじめのない学校づくりに取り組んでいる。



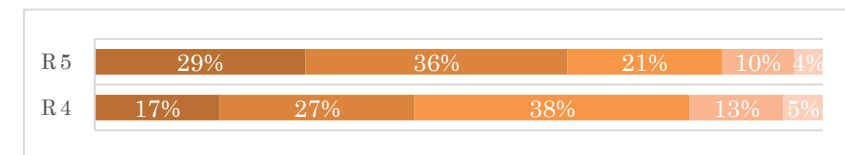
【生徒アンケート】 2 上中学校での生活は、楽しい。



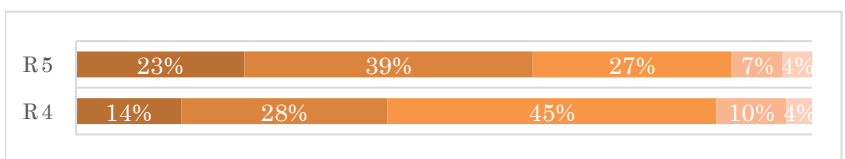
14 いじめはどんな理由があってもいけない。



【保護者アンケート】 14 学校は、生徒にとって楽しい場所になっている。



16 学校は、生徒の人間関係を大切にしたい学級づくりに努めている。



生徒指導に関しては、生徒指導部を中心に学年集団で連携して取り組み、他学年にも情報共有を行っている。今後も引き続き、報告・連絡・相談を密に行い、学校全体での集団指導体制・支援体制の充実を目指していく。さらに、いじめ問題の早期発見・早期解決を目指し、誰もが安心して登校できるようになるためにいじめ検討委員会での検討を重視し組織的に取り組む。学習に対する不安等が原因で、登校しづらくなり別室【e ルーム】登校となったり、休みが続いている生徒に関しては、地域学校協働本部とも連携しながら、保護者どうしのつながりも進め、外部の支援施設・カウンセラー等とも連携し丁寧に対応していきたい。

【来年度に向けて】

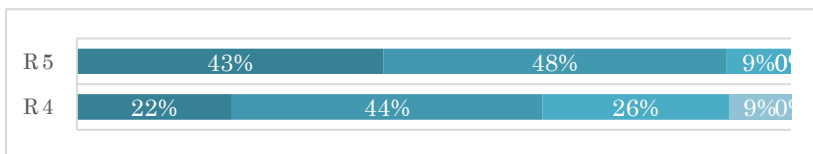
- ・いじめ問題について、早期発見(いじめを見つけ、芽をつむ)・早期対応(組織で対応一人で抱え込まない)
- ・教育相談系の効果的な運用(現状把握や支援の円滑化, 手立ての検討)
- ・教室に入りにくい生徒、不登校傾向にある生徒の対応の工夫(eルームの運営方法の構築)

(3)〈命の教育・人権教育の充実〉人を思いやり尊重するなかまづくりを大切にした学校づくりの推進

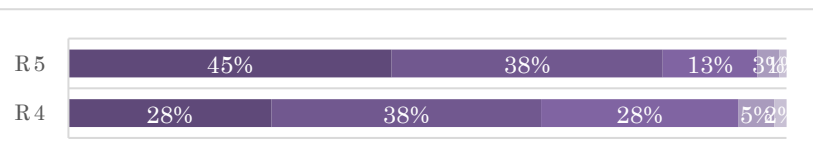
人権教育にかかわる自己評価及びアンケート結果

※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

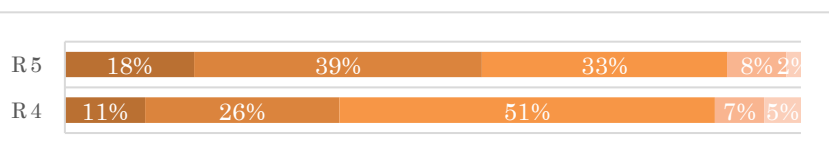
【自己評価】 11 生徒に人権やいのちを大切にする心や、相手を思いやる心を育てている。



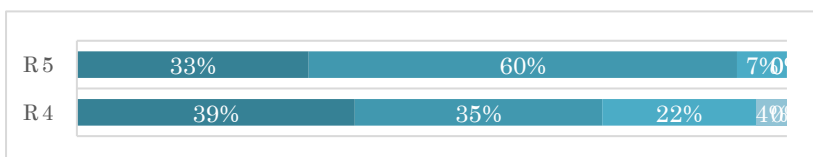
【生徒アンケート】8 互いのよさを認め、みんなとコミュニケーションを取るようになっている。



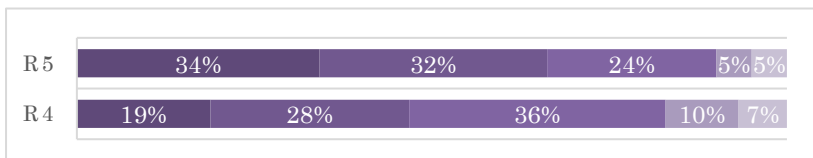
【保護者アンケート】 11 学校、生徒に人権やいのちを大切にする心や、相手を思いやる心を育てている。



【自己評価】 15 生徒の良さを認め、生徒の自己有感や自己肯定感を高めるように努めている。

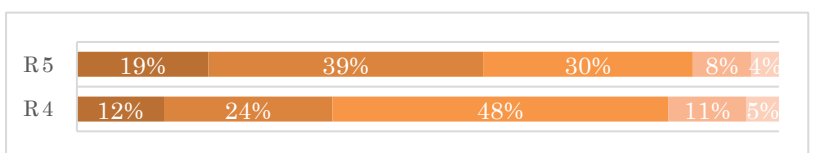


【生徒アンケート】 10 自分には、よいところがあると思う。



【保護者アンケート】

15 学校は、生徒の良さを認め、声掛けなどを通じて、関係づくりに努めている。



教育活動全般で「あなたも私も大切に」、より良いなかまづくりを目指して取り組んでいる。助産師によるいのちの授業や、手話学習を通して障害者理解などの講演会、各学年の課題に応じて教材での道徳の授業などを通して生徒の自己肯定感や自己有用感を高める取組を進めた。生徒アンケートからも少しずつ自分の良さを認めることができる生徒が増えてきており、引き続き取組を続けていきたい。これからも、教職員が日々の学校生活の中で、生徒一人一人のよさを認め、道徳の時間や体験活動を通して、思いやりの心、自分やまわりの人を大切に、命を大切にする生き方について、また共生社会についても考えさせていきたい。

【来年度に向けて】

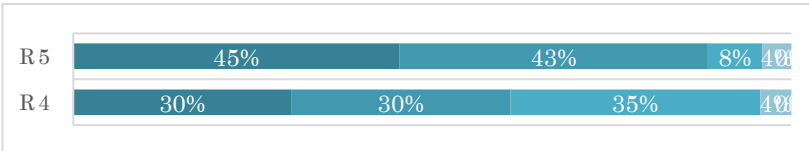
- ・「道徳」時間の充実 人権意識を高めるための取組
- ・自己肯定感を高める体験活動の工夫

(4)〈あいさつの推進〉心が通い合う明るいあいさつの飛び交う学校づくりの推進

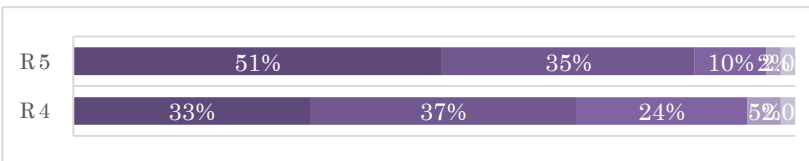
あいさつにかかわる自己評価及びアンケート結果

※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

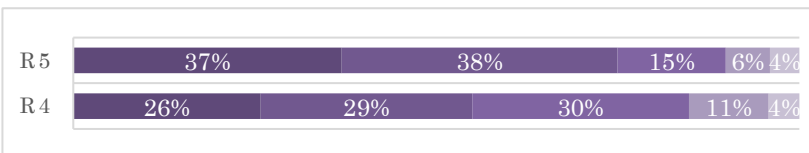
【自己評価】 17 生徒があいさつやきちんとした言葉遣いができるように指導している。



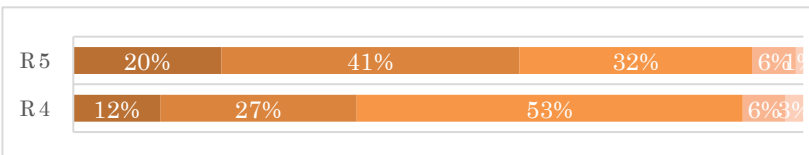
【生徒アンケート】 15 学校では、あいさつをしっかりとっている。



16 普段から地域の人とあいさつを交わしている。



【保護者アンケート】 17 学校は生徒があいさつやきちんとした言葉遣いができるように指導している。



昨年度に比べアンケートにも現れているように学校ではあいさつをしっかりとできる生徒も増えてきたように思うが、あいさつの意義を考え、委員会活動で実施しているあいさつ運動等を通して、あいさつの飛び交う学校づくりを進めたい。また地域の人へも積極的にあいさつすることで、地域への理解やかかわりなども広げる足掛かりとして進めていきたいと考える。

【来年度に向けて】

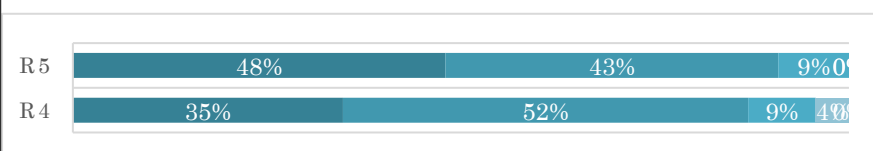
- ・あいさつが飛び交う学校を目指し、校内だけでなく、地域にもあいさつを広げ、地域との連携を広げていく。

(5)〈たくましい心身が育つ学校づくりの推進〉健康と安全に留意し、安全かつ安心して活動する中で、困難を克服していこうとするたくましい心身が育つ学校づくりを推進する。

体力向上にかかわる自己評価及びアンケート結果

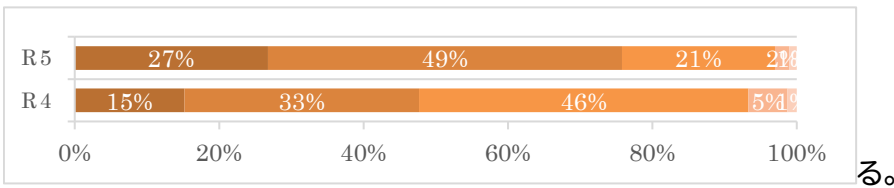
※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

【自己評価】 19 生徒が生徒会や委員会活動等の様々な活動に主体的に取り組めるように努力している。

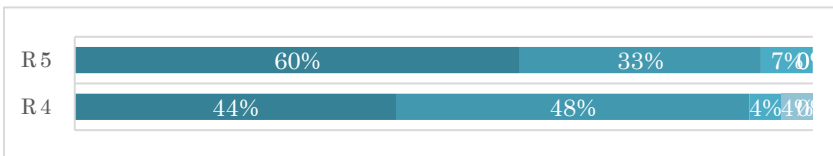


※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

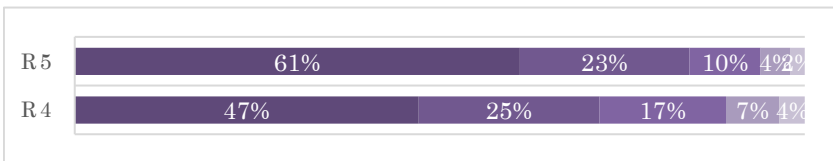
【保護者アンケート】19 学校は生徒会活動・委員会や係り活動を通して生徒に自主・自立の力をつけてい



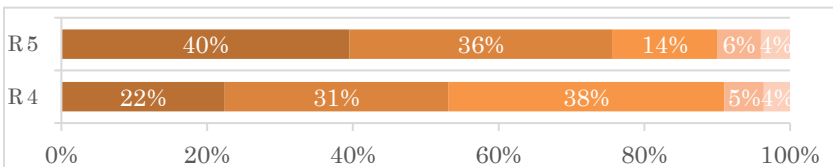
【自己評価】20 部活動の指導は、生徒の安全や体調を考慮しながら適切に取り組んでいる。



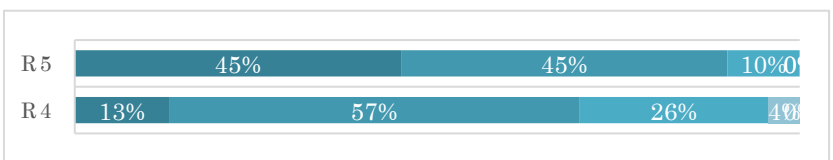
【生徒アンケート】17 上中学校の部活動は、活発で楽しい。



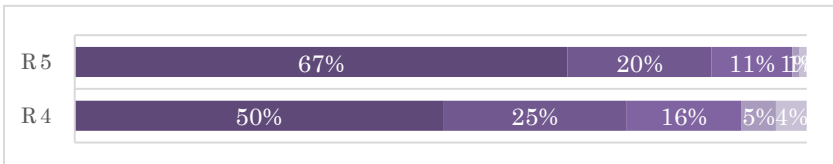
【保護者アンケート】20 学校は、部活動の指導を生徒の安全や体調を考慮しながら適切に取り組んでいる。



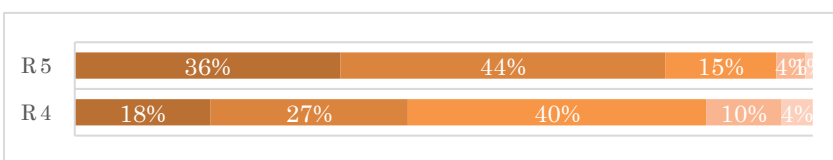
【自己評価】12 学校行事を創造的に取り組み、魅力あるものとして実施している。



【生徒アンケート】6 体育大会などの学校行事は、楽しい。



【保護者アンケート】12 学校は生徒にとって学校行事を魅力あるものとして実施している。



今年度は、体育大会を全学年保護者の皆様にもご観覧いただき実施することができた。部活動についても、日々の健康チェックを実施し生徒の安心や安全に留意しながら実施しているが心配なことは、その都度、各顧問までご連絡ください。今後も生徒が学校行事や部活動に積極的に取り組むことにより、心身ともにたくましく粘り強い生徒を育てていきたい。

【来年度に向けて】

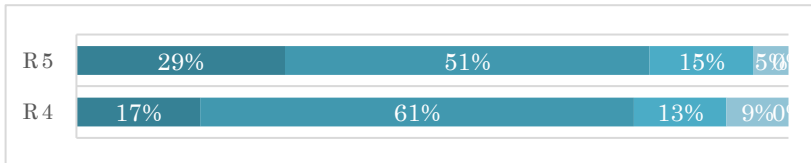
・心身ともにたくましい心と身体づくりを推進する

(6)〈環境教育の推進〉日々の清掃活動や花いっぱい運動、エコ活動等を通じて、美しい学校づくりを推進する。

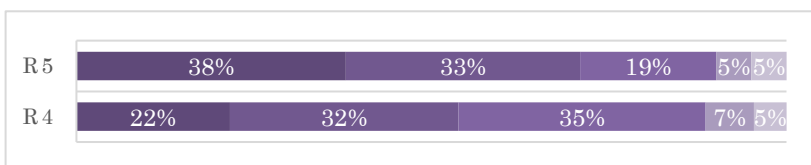
環境教育にかかわる自己評価及びアンケート結果

※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

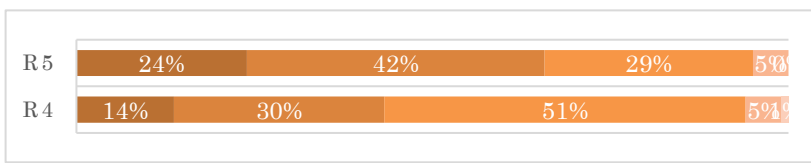
【自己評価】 5 施設の整備に努め、生徒が有効に使用できるように努めている。



【生徒アンケート】 9 上中学校は、生徒会活動・委員会活動が活発である。



【保護者アンケート】 5 学校は、施設美化に努め、生徒は有効に利用している。



環境整備については、概ね達成されている。清掃活動や花いっぱい活動の意義を自ら考え、自主的な取組となるように、更に環境教育の取組を工夫していきたい。

【来年度に向けて】

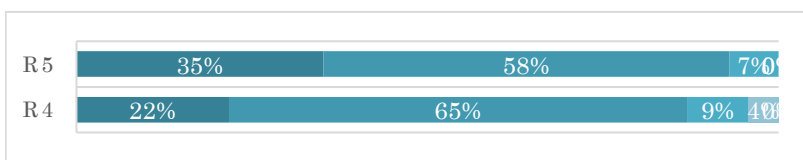
・生徒の自発的な活動を広げ、育友会や地域との連携を発展させる。

(7)〈地域とともにある学校づくり〉地域や保護者との積極的な連携により、信頼される学校づくりを推進する。

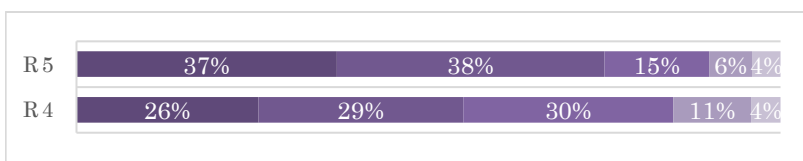
地域連携にかかわる自己評価及びアンケート結果

※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

【自己評価】 22 保護者や地域と連携し、教育を進めようとしている。

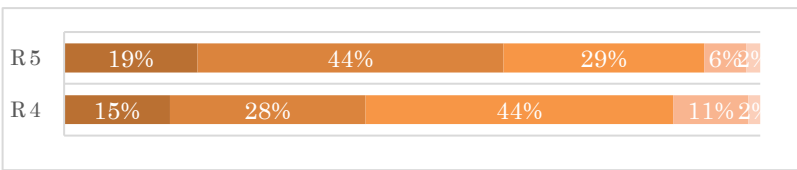


【生徒アンケート】 16 普段から地域の人とあいさつを交わしている。



※左からそれぞれ あてはまる ややあてはまる どちらともいえない あまりあてはまらない あてはまらない

【保護者アンケート】 22 学校は、保護者や地域と連携して教育を進めようとしている。



地域や保護者に学校の様子や教育活動を伝えるために、引き続き掲示板や地域の回覧・ホームページや学校だより、学年通信等を活用していきたい。また、学校運営協議会や上中学校区協働本部とも連携を取りながら、学校の目標や課題等を共有し、課題や目指すべき方向を協議し開かれた学校づくりを目指し、地域貢献も進めていきたい。

【来年度に向けて】

・開かれた学校を目指し学校運営協議会・協働本部の活性化、地域との連携を通して、教育活動をすすめていく。ていく。

今年度のアンケート結果について、昨年度よりも「あてはまる」「ややあてはまる」と回答が増えていることは、新型コロナウイルス感染症が5類となり、様々な教育活動の制限が少なくなり取り組んでいることも考えらる。

学校運営協議会でも今回の結果考察について協議し様々な意見もいただいた。どの項目にも「あまりできていない」「できていない」回答がある。それらの回答にもしっかり目を向け、今後の教育活動につなげていけるよう努めていきたい。